2026年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年８月８日

上場会社名　　ピーエス・コンストラクション　株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　1871　　ＵＲＬ　https://www.psc.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役　社長執行役員　　（氏名）森　拓也
問合せ先責任者　（役職名）経理・財務部長　　（氏名）平野　俊也　　ＴＥＬ　03-6385-9111

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第１四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第１四半期	34,119	7.7	2,480	△2.9	2,477	△2.9	1,434	△9.3
2025年３月期第１四半期	31,665	14.7	2,554	78.6	2,551	85.2	1,580	109.6

（注）包括利益　2026年３月期第１四半期　1,628百万円（6.6%）　2025年３月期第１四半期　1,526百万円（60.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第１四半期	30.67	ー
2025年３月期第１四半期	33.90	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年３月期第１四半期	117,165	57,139	48.8	1,222.08
2025年３月期	130,836	57,880	44.2	1,237.94

（参考）自己資本　2026年３月期第１四半期　57,138百万円　2025年３月期　57,880百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	ー	22.00	ー	50.00	72.00
2026年３月期	ー				
2026年３月期（予想）		40.00	ー	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	4.7	9,500	△22.9	9,400	△23.3	6,200	△24.6	132.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期１Ｑ	47,486,029株	2025年３月期	47,486,029株
②　期末自己株式数	2026年３月期１Ｑ	730,680株	2025年３月期	730,680株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期１Ｑ	46,755,349株	2025年３月期１Ｑ	46,641,560株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8
３．補足情報 …… 10
受注・売上・利益の状況 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、米国の関税政策等の外的要因により輸出環境に不透明感が生じたものの、企業の設備投資は底堅く推移し、インバウンド需要や個人消費も緩やかな回復を見せるなど、全体としては安定的に推移しました。先行きについては、外需の下振れ圧力が強まる中で、国内経済は一定の回復基調を維持するものと見込まれます。

当社グループが属する建設業におきましては、資材価格の高騰に伴う建設コストの上昇が続いており、住宅需要や公共施設の建設計画に影響を及ぼしています。一方で、半導体関連施設やデータセンター、都市部の再開発事業等に対する民間設備投資は堅調であり、建築市場は底堅く推移しています。土木分野においても、災害対応やインフラ老朽化対策を背景とした公共投資が継続しており、安定した需要が見込まれます。こうした堅調な建設需要の一方で、業界全体では人手不足が深刻化しており、業務効率化やＤＸの導入による生産性向上、技術継承を含めた持続可能な人財育成体制の構築が喫緊の課題となっております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては「中期経営計画2025（2025年度～2027年度）」を策定し、「ＰＣ技術を中核とした高度な技術力により、地球にやさしく安全で快適な社会の実現に貢献する」ことを当社のありたい姿と位置づけ、将来を見据えた事業活動に取り組んでおります。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、受注高368億円（前年同四半期比15.2%減）、売上高341億円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

利益につきましては、営業利益24億円（前年同四半期比2.9%減）、経常利益24億円（前年同四半期比2.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりであります。

（土木事業）

売上高180億円（前年同四半期比15.8%増）、セグメント利益28億円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

（建築事業）

売上高140億円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント利益12億円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

（関係会社事業）

売上高45億円（前年同四半期比10.6%減）、セグメント利益10億円（前年同四半期比18.0%増）となりました。

（その他事業）

売上高１億円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益０億円（前年同四半期比7.3%増）となりました。

なお、当第１四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「土木事業」、「建築事業」、「製造事業」、「その他兼業事業」の４区分から、「土木事業」、「建築事業」、「関係会社事業」、「その他事業」の４区分に変更しております。詳細は、「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）Ⅱ　３．報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は909億円となり、前連結会計年度末に比べ136億円減少いたしました。これは主に現金及び預金が87億円、受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等が68億円減少したことによるものであります。固定資産は262億円となり、前連結会計年度末に比べ大きな変動はありませんでした。

この結果、総資産は1,171億円となり、前連結会計年度末に比べ136億円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は494億円となり、前連結会計年度末に比べ122億円減少いたしました。これは主に短期借入金が90億円、契約負債が33億円減少したことによるものであります。固定負債は105億円となり、前連結会計年度末に比べ６億円減少いたしました。これは主に長期借入金が６億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は600億円となり、前連結会計年度末に比べ129億円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は571億円となり、前連結会計年度末に比べ７億円減少いたしました。これは主に利益剰余金が９億円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.8%（前連結会計年度末は44.2%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年５月13日の「2025年３月期　決算短信」で公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	22,100	13,333
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等	74,309	67,447
電子記録債権	760	2,491
未成工事支出金	3,425	2,404
その他の棚卸資産	1,032	1,314
未収入金	2,729	2,998
その他	475	1,191
貸倒引当金	△216	△218
流動資産合計	104,616	90,962
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	10,866	10,938
機械、運搬具及び工具器具備品	10,019	10,063
土地	8,454	8,451
リース資産	1,558	1,576
建設仮勘定	261	338
減価償却累計額	△14,441	△14,538
有形固定資産合計	16,718	16,831
無形固定資産	59	54
投資その他の資産		
投資有価証券	3,749	4,151
破産更生債権等	860	288
繰延税金資産	1,540	1,065
退職給付に係る資産	2,972	2,918
その他	1,179	1,181
貸倒引当金	△860	△287
投資その他の資産合計	9,442	9,317
固定資産合計	26,220	26,203
資産合計	130,836	117,165

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	18,077	19,230
電子記録債務	5,746	6,936
短期借入金	9,500	500
１年内返済予定の長期借入金	4,360	4,960
未払法人税等	2,949	816
契約負債	13,475	10,083
賞与引当金	975	700
完成工事補償引当金	130	75
工事損失引当金	35	14
預り金	3,046	3,907
その他	3,446	2,268
流動負債合計	61,742	49,492
固定負債		
長期借入金	4,700	4,010
再評価に係る繰延税金負債	1,250	1,250
役員退職慰労引当金	183	182
株式報酬引当金	276	247
退職給付に係る負債	3,345	3,360
資産除去債務	317	318
その他	1,140	1,165
固定負債合計	11,213	10,534
負債合計	72,955	60,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,218	4,218
資本剰余金	8,110	8,110
利益剰余金	41,992	41,056
自己株式	△431	△431
株主資本合計	53,890	52,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,537	1,831
土地再評価差額金	1,838	1,838
為替換算調整勘定	△139	△222
退職給付に係る調整累計額	753	735
その他の包括利益累計額合計	3,989	4,183
非支配株主持分	0	0
純資産合計	57,880	57,139
負債純資産合計	130,836	117,165

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
売上高	31,665	34,119
売上原価	26,616	28,867
売上総利益	5,049	5,251
販売費及び一般管理費	2,494	2,771
営業利益	2,554	2,480
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	36	60
持分法による投資利益	4	5
受取ロイヤリティー	3	5
スクラップ売却益	10	5
為替差益	10	－
その他	23	19
営業外収益合計	89	99
営業外費用		
支払利息	54	54
為替差損	－	8
支払保証料	23	22
支払手数料	11	10
その他	2	6
営業外費用合計	92	102
経常利益	2,551	2,477
特別利益		
固定資産売却益	10	1
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産除売却損	1	7
投資有価証券評価損	15	－
その他	1	0
特別損失合計	18	8
税金等調整前四半期純利益	2,543	2,470
法人税等	962	1,036
四半期純利益	1,581	1,434
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,580	1,434

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
四半期純利益	1,581	1,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	294
為替換算調整勘定	14	△45
退職給付に係る調整額	△21	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△37
その他の包括利益合計	△54	194
四半期包括利益	1,526	1,628
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,526	1,628
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

・税金費用の計算

税金費用に関しては、主として当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、税引前四半期純損失となった場合等には、法定実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却費は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
減価償却費	276百万円	272百万円
のれん償却費	4	4

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	土木事業	建築事業	関係会社事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,543	12,627	3,394	100	31,665	－	31,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	－	1,705	－	1,730	△1,730	－
計	15,568	12,627	5,099	100	33,395	△1,730	31,665
セグメント利益（売上総利益）	2,934	1,225	893	27	5,080	△31	5,049

（注）１．セグメント間取引消去によるものであります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	5,080
調整額（セグメント間取引消去）	△31
販売費及び一般管理費	△2,494
四半期連結損益計算書の営業利益	2,554

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	土木事業	建築事業	関係会社事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,035	14,065	1,916	101	34,119	－	34,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	2,644	－	2,644	△2,644	－
計	18,035	14,065	4,560	101	36,763	△2,644	34,119
セグメント利益（売上総利益）	2,884	1,276	1,054	29	5,244	7	5,251

（注）１．セグメント間取引消去によるものであります。
　　２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	5,244
調整額（セグメント間取引消去）	7
販売費及び一般管理費	△2,771
四半期連結損益計算書の営業利益	2,480

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「土木事業」、「建築事業」、「製造事業」、「その他兼業事業」の４区分から、「土木事業」、「建築事業」、「関係会社事業」、「その他事業」の４区分に変更しております。

この変更は、事業環境の変化に対応し、マネジメント・アプローチの観点から主力となる土木事業・建築事業を軸とした事業セグメントに再編成するものです。

この変更に伴い、従来各セグメントの区分に含まれていた「関係会社事業」は独立したセグメントとなり、また、従来の「製造事業」は「関係会社事業」に含まれて報告されます。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第１四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．補足情報

受注・売上・利益の状況

区分		前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）		当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）		比較増減（△）	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
受注高	土木事業	26,150	60.2	13,247	36.0	△12,903	△49.3
	建築事業	13,671	31.5	20,894	56.7	7,223	52.8
	関係会社事業	3,496	8.1	2,588	7.0	△908	△26.0
	その他事業	100	0.2	101	0.3	0	0.7
	合計	43,419	100.0	36,831	100.0	△6,588	△15.2
売上高	土木事業	15,543	49.1	18,035	52.9	2,492	16.0
	建築事業	12,627	39.9	14,065	41.2	1,438	11.4
	関係会社事業	3,394	10.7	1,916	5.6	△1,477	△43.5
	その他事業	100	0.3	101	0.3	0	0.7
	合計	31,665	100.0	34,119	100.0	2,453	7.8
利益	土木事業	3,009	59.6	2,880	54.8	△129	△4.3
	建築事業	1,225	24.3	1,276	24.3	50	4.1
	関係会社事業	786	15.6	1,065	20.3	278	35.5
	その他事業	27	0.5	29	0.6	2	7.3
	合計	5,049	100.0	5,251	100.0	202	4.0